

探究的な学びを推進する1人1台の情報端末の活用

～先生編～

世田谷区教育委員会

ICTを活用する目的

「せたがや11+」を推進するためです。

無限の可能性をもつ子どもたちが、これからの変化の激しい時代を生き抜くために、探究的な学びを通して、自ら考え、表現することのできる児童・生徒を育成するツールとしてICTを活用し学習を進めます。

整備されるICT

「子どもが1人1台のタブレット(iPad)を使えるようにします。

-学習用タブレット端末・1人1台 -高速通信ネットワーク・各教室



「せたがや11+」×ICT活用

「せたがや11+」を推進するツールとしてICTを活用してください。

せたがや11+

教育の質の転換

誰一人置き去りにしない教育

子どもたちの学びを支える環境の整備

ツール

ICT活用のポイント

データ活用

シームレス

可変性

双方向型のやりとり

効率化

個別最適化

ICT活用の基本的な考え方

「せたがや11+」の理念を実現するための基本方針に即して、特に教育効果が高いと考える3つのポイントに絞り活用します。

基本方針1

知的好奇心を刺激し、主体的な学びや探究的な学びを促す

基本方針2

他者や社会と積極的に関わる環境を整備し、自ら考えを広げ、深められるようにする

基本方針3

一人一人の学びを尊重し、誰一人置き去りにしない教育を推進する

データ活用

文字、数値、図表、動画、3D映像、音声、学習履歴など多様なデータを自由自在に蓄積、加工、分析、表示できるようになります。

双方向型のやりとり

やり取りできる対象が広がるとともに、スムーズに連携することができるようになります。

個別最適化

一人一人の興味・関心や学習理解度及び学ぶペース、学び方などに応じていつでも、どこでも学べるようになります。

ロードマップ

ステップ1

誰でも、いつでも、どの教科等でも適切にICTが活用できる。

ステップ2

各教科等の学びを深めるために効果的にICTが活用できる。

ステップ3

ICTを効果的に活用し、各教科等の学びをベースにして社会に見られる課題等の解決を図ろうとする。

ロードマップに即した具体的な活用方法

ステップ1はどの学校でも必ず取り組んでください。

ステップ1

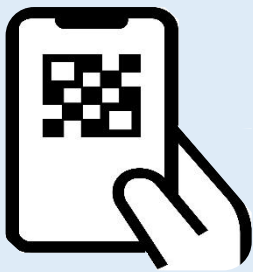
「誰でも、いつでも、どこでもICTを活用する」

すべての学校で日常的に必ず行うこと

検索したサイトを
活用した調べ学習



教科書の2次元
コードの活用



ドリル系アプリを
活用した個別最適
な学習



双方向型学習支援
アプリを活用した
協働学習



チャット等による
コミュニケーション



健康観察表の提出



家庭での活用

持ち帰ったタブ
レットで家庭学
習



不登校児童・
生徒への対応



具体的な取組は適宜、更新していきます。

ステップ2へ

ステップ2

「学びを深めるために効果的にICTを活用する」

児童・生徒の実態や指導内容に即して適宜行うこと

学習や生活スケジュールを進行管理する



校閲機能を用いて推敲し、より良い文章を書く



観察・実験のレポートを写真やグラフを挿入してまとめる



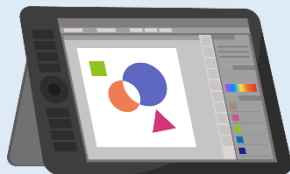
収集したデータを地図に重ね合わせて情報を読み取る



関数のグラフについて式の値を変化させて関数の特徴を考察する



プログラミングを通して正多角形を作図する



海外の児童・生徒とつながり英語で交流・議論する



学び舎の児童・生徒会役員が学校の課題を議論する



具体的な取組は適宜、更新していきます。

ステップ3へ

ステップ3

「ICTを効果的に活用して、これまでの学びをベースにし、社会に見られる課題等を解決するために活用する」

「未来」に向けて、学びの可能性を広げるために創意工夫を凝らして行うこと

環境問題等の解決に向けて他国とつながり情報収集、分析、提案する



災害時の実際の被害状況を調査し、避難シミュレーションをして対策を提案する



ロボティクスやIoTを活用して社会問題を解決した例を基にし、理想とする社会の実現に向けて提案する



データに基づく練習や戦略の考案、ゲーム後の再評価を繰り返してパフォーマンスを向上させる



具体的な取組は適宜、更新していきます。

到達点

「せたがや11+」×ICT活用で目指す子どもの姿

生涯にわたって学び続けるためのツールとしてICTを効果的に活用できる子どもを育みます。

ICTをツールとして活用することにより、「未来」に向けて、自らの将来像を描きながら、幼児期から育てている非認知的能力を生かして主体的に考え、生涯にわたって学び続けることのできる児童・生徒を育む。

個別学習支援（ドリル）アプリを活用しましょう

一人一人の学習進度に合わせた支援をするために活用してください。

～紙のドリルからデジタルのドリルへ～

宿題・自主的な家庭学習での活用



小テストとしての活用



単元のまとめの授業での活用

まとめ



朝や昼の短時間学習での活用

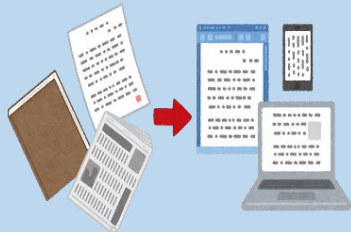


活用を広げるための視点

○データの蓄積、分析、統合



○紙の削減



○アンケート



○不登校支援



先生たちを支援するための取り組み

先生たちを技術的にサポートするために・・・

ICT支援員が配置されています。操作の補助や使い方を教えます。ぜひ活用してください。

ICTを推進するために・・・

学校の枠を超えてICTを積極的に推進する先生方を募集します。オンライン研修を行い、学んだことを各ブロックの先生方に伝えます。

先生方のICT活用指導力を高めるために・・・

○ICTを活用した授業などの動画を撮り、先生方が見て学べるようにします。

○アプリの操作や、活用事例を紹介する各種の研修を行います。

○モデルとなる実践を研究、公開する先生方や学校を募集します。

区内の先生方に発信し、全員で学べるようにします。

